

令和3年度聞き取り調査結果

実施時期 令和3年4～6月実施

対 象 一時保護所等施設入所中の女性DV被害者

実施方法 ケースワーカー等による聞き取り調査

事 項	不便・不安に思うこと、望むこと
住 宅	<p>○転宅先（アパート、公営住宅等の選定及び転居後についての不便・不安・望むこと（以下「不安等」という。）</p> <p>転宅先の情報不足、自分や子どもたちのニーズにあった転宅先があるかが不安を訴える記載が多く、探すための交通手段がほしい、手続きを一人で対応できるか、転宅前や転宅後に一緒に手助けをしてくれる人がいてくれるとよいという要望をいただいた。</p> <p>○転宅費用・家賃についての不安等</p> <p>生活保護受給中は安心だが、自立後、家賃の支払い等生活していけるのか経済的な不安は多く聞かれ、公営住宅入居への配慮、家賃の補助について要望があった。</p> <p>○その他（外国籍に係る不安等）</p> <p>言語やシステムが理解できず、手続きには不安を抱えていたという記載が多かった。外国籍のため転宅に必要な保証会社の受け入れが難しかった事例もあった。</p>
就 労	<p>○就労先（就労場所、就労条件等）の選定についての不安等</p> <p>『子育てとの両立ができるだろうか』という不安の記載は多かった。</p> <p>また、加害者から「何もできない人間」と人格を否定され続けていたため就労できるか不安であるという声もあった。</p> <p>DVによる避難のため、現住所と住民票が違うことなどが影響して就労場所を探すのに苦慮したり、加害者の住所地や勤務先を避けるなど就労条件に制限が出てしまう困難の記載があった。</p> <p>○賃金についての不安等</p> <p>現時点では、子育て中で勤務時間の制限があるため、パート勤務で低賃金もやむを得ないが今後のことを考えると『不安である』という声が多かった。</p>
子ども	<p>○子どもの健康（通院、DV被害の影響等）についての不安等</p> <p>子どもへのDV被害の影響については、心配している記載が多かった。現時点で子どもに体や心の症状が出ている場合、出ていない場合でも成長してから何かでくるのではと不安はつきない。</p> <p>○子どもの養育・教育（保育所・学校の選定、学校等のDVへの理解、登下校時の安全等）についての不安等</p> <p>子どもの登下校時の加害者からの追及の不安の記載は多かった。学校等職員にもDVについての知識や理解を深めてもらうことや子どもが安全な学校生活を送るためにも協力は必要不可欠であるとの意見があった。</p> <p>○その他（高校等への進学への経済的な不安等）</p> <p>進学のための学費等用意できるか経済的な不安は強い。</p>
生活資金 (貸付等)	<p>○生活保護の受給、社会福祉協議会等の貸付についての不安等</p> <p>生活保護受給中のため『不安はない』と答えている方もいるが、『今後どうなるのか』『順調に働くことができるのか』等悩みはつきない。</p> <p>○離婚による子どもの養育費について</p> <p>養育費は、定期的に支払いがある方もいるが取り決めをしても支払われない方もいて、確実な支払いについてシステムの構築の要望があった。</p>

	<p>また、養育費を望むことで子どもへの面会交流を要請される可能性もあり、避難したにもかかわらず加害者側の追及等再度安全面が脅かされることとなり養育費の申請をしない、躊躇するという声もあった。</p> <p>離婚にあたって裁判となる場合は弁護士費用が必要となり、経済的な不安を訴えている方もいる。</p>
健康	<p>○怪我、病気についての不安等</p> <p>被害者本人が病気や入院が必要になった場合、子どもの養育について不安を持っている方が多かった。</p> <p>DV被害の影響で、フラッシュバック、眠れない等精神的に不安定となっているという声が多く聞かれた。施設内でカウンセリングを受けたり、職員に話を聞いてもらったりと支援も行われているが、一時的なものではなく長期的な支援を望んでいる。</p>
追 及	<p>○自分と子どもの安全確保（自宅、職場、学校等）についての不安等</p> <p>加害者に現在の居住地がわかってしまうのではないかと常に恐怖感を抱いている。子どもの学校や実家等親類宅など不安はつきないという。</p> <p>警察の協力や住基ネットの支援措置など支援を受けている報告もあった。</p>
その他	<p>○今、一番受けたい支援。また、今後受けたい支援、要望など。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転宅先の決定 ・DV被害者が優先的に入居できる住宅（アパート公営住宅など） ・生活保護を受給できるのか詳細な説明 ・同行支援 ・加害者の動向を教えてほしい ・精神面及び医療面の支援 <p>○上記以外で不安に思っていること。（離婚、加害者についてなど）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離婚相談窓口 ・当事者同士の交流 ・加害者更生プログラムの普及（加害者も元は被害者だったことがあり負の連鎖を避けるため） ・行政機関の窓口職員にDV避難に関する知識や理解をもってほしい。